

学者の研究会を少し覗いてみませんか？

佛教大学
宗教文化ミュージアム

人文地理学会
第158回歴史地理研究部会

人文地理学会歴史地理研究部会共催
学術シンポジウム

都市祝祭

—歴史地理学者にはどう見えるのか？—

日時：2021年7月18日（日）13：00～17：00

会場：佛教大学宗教文化ミュージアム 宗教文化シアター

【視聴方法】詳細は、当館webのお知らせをご覧ください。

オンライン（zoom）で視聴いただけます。（申込不要：先着150名）
開催日の3日前を目途にzoomのURLと資料を公開する予定です。
（zoom環境や、当日の接続不具合などのお問合せはご遠慮ください）

なお、当日は、新型コロナウイルス感染症予防対策の一環から、
一般の方のシアターへの入場はできません。
来館を希望される方は、第2会場での視聴になります。
（事前申込不要：先着20名まで）

部会に参加される予定の研究者や学生の方で、事前申込をまだおこなっていない場合は、7月11日（日）までに人文地理学会のweb、もしくは、歴史地理研究部会のFacebookに公開している申込フォームから申してください。



佛教大学宗教文化ミュージアム



都市祝祭

— 歴史地理学者にはどう見えるのか? —

【開催趣旨】

現代日本の都市社会を背景とした祭りは、祇園祭のように宗教性や行事内容の不易、伝統性を強調しながら現代に至るまで伝えられる祭礼、時代祭など近代以降に創造された博覧会的イベント、よさこい祭り、神戸まつりなど戦後に地域活性化を目的に創造されたイベントに大別されるという。現在では、そのいずれもが濃淡はあれど、観光開発や地域振興などと不可分な関係をもちながら運営されている。

ことに都市における祝祭性は、各地の祭りや年中行事のほか、近代オリンピックや万国博覧会、巨大テーマパークや百貨店における消費行動といったようなハレ（非日常）の側面がみられる諸現象を事例に多くの議論が展開されてきた。そこで、本シンポジウムでは都市祭礼を事例とし、都市祝祭にみられるハレの場が出現するにあたっての空間的特徴や空間構造、祭りの構成員と観客の変化、祭り関係者としての立場・経験等を導きとして、複眼的な視点から都市祝祭について議論し、歴史地理学がどのように向き合えるのかを検討してみたい。

【研究発表】

・戦後復興の中で創出された都市祝祭とその後の展開

..... 内田忠賢 (奈良女子大学)

・地域住民—地域外参加者関係からみる江戸・東京の祭礼史

..... 三隅貴史 (関西学院大学)

・近代京都の都心部における持ち家率低下に伴う祇園祭山鉾行事への影響

..... 佐藤弘隆 (立命館大学)

コメント・討論司会：網島 聖 (佛敎大学)

総括：八木 透 (佛敎大学)



【アクセス】

○市バス

- ・59号系統 (一部) 三条京阪前から「広沢池・佛大広沢校前」下車すく
- ・10・59号系統 三条京阪前から「山越」下車西へ徒歩13分
- ・26号系統 京都駅前から「山越」下車西へ徒歩13分
- ・91号系統 四条烏丸から「広沢御所/内町」下車北へ徒歩8分
- ・98号系統 錦林車庫前から「烏丸丸太町経由」 「広沢御所/内町」下車北へ徒歩8分
- ・特93号系統 太秦天神川駅前から「広沢御所/内町」下車北へ徒歩8分

【ご利用案内】

- 入館料 無料
- 開館時間 10:00～17:30 (入館は17:00まで)
- 休館日 日曜日・祝日 (7月18日は開館)
- 駐車場 普通車30台 (無料) 自転車・バイク駐輪場あり
- 館内に飲食施設はございません

【お問い合わせ】

〒616-8306 京都市右京区嵯峨広沢西裏町5-26 ☎(075) 873-3115
<http://www.bukkyo-u.ac.jp/facilities/museum/>